

岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

平成28年 2月10日

岡山市長 大 森 雅 夫 様

団体名 とやまがつくれんごうでんしちょうないかい 富山学区連合電子町内会
うんたいいんかい
運営委員会

所在地

連絡先

代表者氏名

実施分野	(該当する分野を○で囲んでください) ☒ ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起こし ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名	往時の写真による「昔とみやま」の発掘と伝承
事業実施区域 (小学校区)	富山小学校区
事業実施内容	1 旧富山村当時からの住民(その所縁の親類縁者を含む)宅各戸を対象に古い写真(明治末期～大正～昭和30年代頃までのもので、当時の村落風景や風物、更に生活や営農の様子が写ったもの)の貸与を受けるべく依頼文書149通を発送した。 2 前項に基づく写真の借り受け(家具・農具については、情報に基づく出張撮影の結果、協力者数33世帯(22パーセント)、取得写真総数218点だったが、実際に写真帳やパネルに使用した写真は184点だった。 3 これらの写真を、 (1) 若干の説明を付してクリアファイルに収納し、「昔とみやま写真館」と名付けた写真帳(59ページ構成)85冊を作製し、関係先に頒布した。 (2) 前号の各ページをA3判に拡大し、2mm厚の台紙に貼付したパネル59枚を作製して、平成27年度富山文化まっりの会場でパネル展を実施した。 (3) 平成28年1月1日を期して、富山学区連合(電子)町内会のホームページにWeb公開した。

事業目的とその達成状況及び効果	1 事業目的 (1) 旧来の学区民各世帯にお願いして「古い写真（昔の風景・風物や生活・営農の様子を偲ぶことができるもの）の提供（一時借用）受け (2) これらの写真を編集（簡明な解説付記を含む）して写真帳「昔とみやま写真館」を作製～協力者等を含む学区内外に無償頒布 (3) 好機を捉え、要望に応じてパネル展を開催 (4) 写真帳の成果品を学区のホームページに情報公開 } 詳細は「情報公開」参照 かくして、郷土“とみやま”の来し方の価値観を学区民と共有し、次の世代に継承すると共に、郷土に親しみ、郷土を愛する心の育成の一助に資する。 2 達成状況 (1) 資料（写真）の収集 <table border="0"> <tr> <td>ア 資料（写真）提供依頼先</td><td>149世帯</td></tr> <tr> <td>イ 協力のあった資料点数</td><td>33世帯 ～ 218点</td></tr> <tr> <td>ウ 出張撮影した資料点数</td><td>89点</td></tr> <tr> <td>エ 写真帳「昔とみやま写真館」への収録点数</td><td>184点</td></tr> </table> (2) 写真帳「昔とみやま写真館」（59ページ）の作製及び頒布 85冊 (3) パネル展用写真パネル作製部数（A3判大、台紙付き） 59枚 27年度の富山文化まつり会場でパネル展実施（10月31、11月1日） (4) 富山学区連合（電子）町内会ホームページへのWeb公開 H28. 1. 1 3 効果 多くの学区民から「よくできている」「多くの写真を集めており、敬意を表する」「小学校の道徳（郷土愛）の時間に活用したい」「100年に一度の、文字通り世紀の偉業だ」等、称賛と感謝の声が届いている。 効果のほどは計数的には評価できないが、多くの学区民が今次小冊を通じてわがまち「とみやま」を再発見し、運命共同体に生きる学区民としての連帯感と絆の覚醒に些かでも貢献できれば幸甚に思う。	ア 資料（写真）提供依頼先	149世帯	イ 協力のあった資料点数	33世帯 ～ 218点	ウ 出張撮影した資料点数	89点	エ 写真帳「昔とみやま写真館」への収録点数	184点
ア 資料（写真）提供依頼先	149世帯								
イ 協力のあった資料点数	33世帯 ～ 218点								
ウ 出張撮影した資料点数	89点								
エ 写真帳「昔とみやま写真館」への収録点数	184点								
企画などの工夫と情報公開	1 企画などの工夫 当初計画になかった次の2点を企画に加え、成果を得た。 (1) 「成果の次世代への継承」の観点から、写真帳の製本作業に中学生ボランティアを募集し、10名の男女生徒のみなさんとの協同作業で実施した。 (2) 写真帳をより多くの学区民の皆さんに見て頂きたいとの思いから、学区内の各町内会の公会堂・集会所（計13か所）に各1部を常備すべく、関係町内会長に配付～預託した。 2 情報公開 (1) 平成28年1月1日を期して、富山学区連合（電子）町内会のホームページにWeb公開した。 (2) 「昔とみやま写真館」の頒布先は、前ページの「事業実施内容」のとおり。 (3) パネル展については富山中学校のロビー展への出展要請があり、具体化し次第応需の予定である。 (4) 富山公民館の講座として「“昔とみやま写真館”上映会」開催の要請があり、是非とも多くの学区民の高覧に供したいと思っている。								

次 年 度 計 画	1 写真帳「昔とみやま写真館」に収録すべき新たな写真・資料が提供された場合は、当然編集～印刷して頒布先に追録手続きをすると共に、ホームページ上の公開情報も修正（追加）することとなるが、その時の労務及び経費は元来の電町運営委員会の恒常業務として処理することとなる。 パネルの追加作製も必要となるが、それらの可能性はきわめて低い。 2 したがって、今次事業は平成27年度で一先ず「完結」としたい。 3 平成28年度に臨む「区づくり推進事業」は、本委員会としては計画はない。 （ 個人としては、村史編纂は無理としても「富山学区の歴史年表」を作るべきとの思いがあるが、連合町内会の協力（同意）が得られず、また、1人で出来る事業でもなく、断念している。）
事業実施者としての評価・感想など	1 資料（写真）の貸出協力者が（依頼者数の）22パーセントと低調だったが、「火事で焼けてしまった」のは致し方ないとして、「家を建て替えるとき全部処分してしまった」のは残念であった。 2 「古けりゃいいだろう」的なお考えからか、学区外での行事の写真や先祖累代の（個人宅の）肖像写真などの提供もあったが、当然これらは感謝のうちにボツとさせて頂いた。 3 写真提供依頼が酷暑期に当たったため、平素使わない（いわゆる「お蔵入り」の）農具や生活用品を引っ張り出すことは苦行を強いることでもあり、協力低調の一因であったかと思う。 4 協力いただいた古い写真のなかに「国防婦人会の防空演習」の実写23枚があり、岡山シティミュージアム（岡山空襲展示室）の 学芸員をして「旧市内には空襲で焼けてしまってこの種の写真は全くといっていいほど、ない。貴重だ」とのご託宣があり、提供者の同意を得て同展示室に資料（写真データ）提供すると共に、同学芸員氏を「郷土将兵慰問写真帳」の所有者 にもお引き合わせしておいたところ、本年になって から「市の展示室へ寄贈」との意向が示されたと聞いている。 5 富山学区の住宅地域のほとんどは、田んぼ（干拓地）を埋め立てた造成地だ。新田開発当時の写真は当然存在しないが、鳥瞰写真や古絵図を通じ、多くの学区民は「焼き豆腐」（表面は固いが、中はグジャグジャ）の上の家に住んでいることに気付き、防災意識の振起に繋げて頂いていただろうか。 6 審査段階において、「反戦意識の高揚」を盛り込むよう声高に主張する委員がいたが、われわれの事業目的からしてそれは当たらない。 が、編集を進める段階において「戦時中の小学校の様子」や「戦時下の学区民の様子」は掲載必須となり、「いまの子どもたちにこんな思いはさせたくない」とキャプションしておいた。 7 肖像権・著作権について、とても勉強になった。 「インターネット掲載画像や、出版物の掲載写真の無断転載不可」との方針に則り、遠くは東京の出版社や千葉県の博物館とやり取りするなど、多くの手間暇と多額の通話料の私費負担を余儀なくされた。 8 総評としては、「95点の出来」と自認している。残り5点は、「画像転載料1点につき5千円～通算数万円を請求され、泣く泣く所望の画像掲載を断念したことと、「まだまだ眠っている有為な写真があるはず」との達成未完の思いである。

■収支決算書

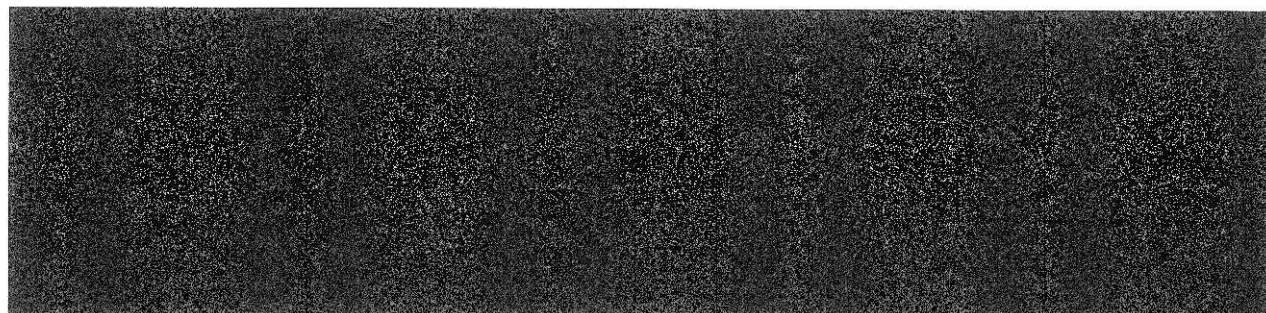
◆ 収 入

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	259,000	252,900	
負 担 金	64,757	63,230	
参 加 費			
預 金 利 息		6	
計	323,757	316,136	

◆ 支 出

単位：円

項 目	予 算 額		決 算 額		内 容 (必ず記載してください)
	総事業費額	補助対象額	総事業費額	補助対象額	
消耗品費	134,207	134,207	170,566	170,566	インク・用紙・事務用品・パネル作製費
食 糧 費	8,550	8,550	4,289	4,289	会議・作業時の飲料
印刷製本費	173,000	173,000	138,355	138,355	写真帳作製費
通信運搬費	0	0	626	626	許諾申請等郵送料
手 数 料					
使 用 料	8,000	8,000	2,300	2,300	コインエアコン代
原材料費					
委 託 料					
褒 賞 費					
旅費交通費					
計	323,757	323,757	316,136	316,136	



■ 事業実施にあたっての協働の状況

協働した団体・企業・大学等	協働した内容
岡山大学附属図書館池田家文庫	「備前國上道郡沖新田圖」の画像データの提供受け調整
国土交通省岡山河川事務所 計画調整課	同所発行の「百間川小史」中の写真の転載許諾取付け
岡山市立富山中学校	写真帳「昔とみやま写真館」の製本作業の支援受け (男女生徒10名)
岡山市立中央図書館	「沖新田東西之圖」の画像データの提供受け 絵本「昔の暮らしの道具事典」(岩崎書店)の借り受け 〃 「昔の暮らしと道具 2」(小峰書店) 〃
岡山シティミュージアム 岡山空襲展示室	水車(展示物)の写真提供受け 遮光フード及び防空頭巾の写真提供受け
千葉県立「房総のむら」	「昔の暮らしの様子」に掲載する写真3点(蚊帳、蠅たたき、蚊取線香)の掲載許諾受け
公益財団法人 岡山県農林漁業 担い手育成財団 岡山県立青少年農林文化センター 三徳園	昔の農具・民具・生活用品等の出張撮影の便宜受け
株式会社 山陽新聞社 総務部著作権係	木炭バスの著作権の所在確認作業
両備ホールディングス株式会社 両備営業サポートカンパニー総務本部総務部	木炭バスの著作権の所在確認作業
株式会社 岩崎書店	刊行物掲載写真の転載許諾調整
株式会社 小峰書店	同 上
国立東京江戸博物館	同 上

(注)

「協働」の意義をよく理解しないままに、協議・協力・折衝・照会・便宜供与等の各場面で接触した団体・企業・学校等を列挙しました。

事業実施経過

年 月 日	内 容
わが故郷「とみやま」の発掘と再発見については、従前から学区のホームページに紙面を割き、次のような紹介事業に取り組んできたところである。 ・ 学区の名所・旧跡めぐり ・ 河 川 ・ 建造物（公会堂、集会所） ・ 火の見櫓 ・ 石碑、石造物 今次「昔とみやま写真館」はその流れを汲み、往時の「とみやま」の風景や風物さらに学区民の生活や営農の様子を写真で偲ぼうとするものである。	
27. 2. 13	・ 岡山市区づくり推進事業実施計画書を全運営委員宅へ宅配
27. 2. 21	・ 定例運営委員会（＃1編集会議）席上で、本事業実施を決議
27. 3. 3	・ 岡山市区づくり推進事業助成申込書提出
27. 6. 17	・ 補助金申請書提出
27. 6. 19付	・ 事業実施決定通知
27. 6. 20	・ 定例運営委員会（＃2編集委員会）席上で今次事業のプレゼンテーション実施
	・ 事業推進プロジェクトチームを編成
	・ 写真提供依頼先リスト及び依頼・回収担当者の検討～決定
27. 7. 5	・ 学区町内会長会議で構想説明～了解取付け
27. 7. 6	・ 依頼担当委員宅へ町内別依頼状を宅配
〃	・ 学区外在住者あて依頼状を郵送
27. 7. 18	・ 定例運営委員会（＃3編集委員会）席上、写真帳作製要領協議 → クリアファイルA3判縦、40袋に決定
	・ パネル展用写真用は、2mm厚の台紙に貼ることと決定
・ ・ ・	この間、委員長において借受写真の整理・精選～ページ割付け作業を実施。
27. 8. 15	・ 定例運営委員会（＃4編集委員会）席上、写真帳概成案を提示～了承
・ ・ ・	この間、引き続き委員長においてページ編集、補完作業を推進。同時に、著作権問題解消のための努力傾注及び必要資材調達、特命委員においては、民具・農具の出張撮影を実施
27. 9. 19	・ 定例運営委員会（＃5編集委員会）席上、写真帳概成案を提示～了承
27. 9. 23	・ 臨時Web委員会（＃6編集委員会）で印刷外注案を了承～印刷発注
27. 10. 5	・ パネル用写真自家プリント（A3判ノビ59枚）
27. 10. 17	・ 中学生ボランティア共々、写真帳製本作業（85冊）、パネル作製（59枚）
・ ・	この間、借用写真の順次返却。完成した写真帳の（計画に基づく）謹呈・頒布（礼状を付して）
27. 10. 31 ～11. 1	・ とみやま文化まつりでパネル展開催
27. 12. 24	・ 岡山市立中央図書館及び岡山空襲展示室に写真帳各1冊を贈呈 —— 平成27年度補助事業終了 ——
28. 1. 12	・ 補助事業実績報告書提出